



## ⑦まちかどチェック

実施時間	45分×2コマ	対象学年	小学校5年生以上
活用単元例 (指導要領)	<p>【小学校高学年】</p> <p><b>社会</b>・我が国の国土の自然などの様子  <b>理科</b>・土地のつくりと変化  <b>家庭科</b>・家族や近隣の人との関わり・快適な住まい方</p> <p>【中学校】</p> <p><b>社会</b>・日本の地域構成・日本の地域的特色  <b>理科</b>・生物と環境・日本の気象・自然の恵みと災害  <b>家庭科</b>・家庭生活と環境</p> <p>【高等学校】地歴公民・理科・家庭</p>		
<p>○概要○ 学校周辺を散策し、モノや人、店、地形等の環境を調べ、地域マップを作る。また、特徴的な箇所は地域の方の声を集めることで、地域の特性を学ぶ。</p>			

### ○授業進行例○

時間	授業の内容・流れ <small>○児童の活動 ★講師・教員が実施</small>	学習のねらい	必要な教具・教材 /★留意点
導入 (5分)	<p>○授業のねらいを理解する</p> <p>★流れの確認。</p> <p>→“地域”に関わる問いかけ。                      「学校周辺にお店はどれくらい？」など。</p>	○“地域”に関わる興味を引き出す。	
展開1 (40分)	<p>○まちかどチェック！</p> <p>★グループごとに調べる対象を決め、学校周辺を散策する。</p> <p>→2~3名のグループで調べる。                      →気になる箇所は地域の方にインタビューする。                      →調べる項目は商店、住宅、公園、自動販売機、コンビニ、ガソリンスタンド等                      →保育園や老人介護施設等の情報を入れることで福祉の視点を加える。</p>	○地域の生活環境を調べる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本マップ</li> <li>・バインダー</li> </ul>
展開2 (25分)	<p>○地域マップを作ろう！</p> <p>★それぞれの集めてきた情報を一枚の地図にまとめる。</p> <p>→どこにどんな施設があるのか、商店と住宅の位置関係等に気づかせる。                      →自動販売機やコンビニの数を考える。</p>	○地域の生活環境を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模造紙（基本マップ記入）</li> <li>・ペン</li> </ul>
展開3 (20分)	<p>○地域の特徴を発表しよう！</p> <p>★調べた内容から調査項目の特徴や傾向をそれぞれのグループで発表。</p> <p>→インタビューがある場合はそれも加える。                      →地域の住みやすさについても考察する。</p>	○地域の特徴・傾向を知り、地域への関心を高める。	

### ○発展例○

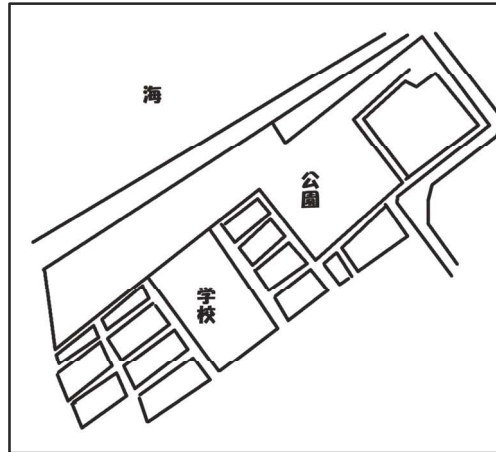
分野	授業の展開	発展ポイント
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界や日本各地の街づくりについて調べる。</li> </ul>	文化や環境、生活に着目し、街づくりの違いを考える。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災対策を考える。</li> <li>・地域の課題解決に向けた行動を促す。</li> </ul>	地域が抱える社会課題（高齢者、子ども、外国人等の防災対策など）について向き合い、地域とのつながりを作る。

### ○情報リンク○

- ・沖縄県 都市計画 [情報 画像](http://www.pref.okinawa.jp/site/shakai/toshi/index.html) (<http://www.pref.okinawa.jp/site/shakai/toshi/index.html>)

# まちかどチェック（指導用解説）

## ●基本マップ記入例●



## ●模造紙完成例●



！POINT！

シールを利用して、自動販売機の位置や商店・コンビニ等に印をつけましょう！

商店	住宅	公園	学校	福祉施設
自動販売機	コンビニ	ガソリンスタンド	交番	消防署

## ⑧スナップタイムマシーン




スナップ

実施時間	45分	対象学年	全学年対応
活用単元例 (指導要領)	<p>【小学校高学年】</p> <p><b>社会</b>・世界の中の日本・我が国の農業と水産業  <b>理科</b>・生物と環境  <b>家庭科</b>・快適な住まい方  <b>体育</b>・地域の健康活動  <b>道徳</b>・自然愛、環境保全</p> <p>【中学校】</p> <p><b>社会</b>・日本の地域構成・現代の日本と世界・身近な地域の調査  <b>理科</b>・生物と環境・日本の気象  <b>技術・家庭科</b>・家庭生活と環境  <b>保健体育</b>・健康と環境</p> <p>【高等学校】地歴公民・家庭</p>		
○概要○ 地域の昔の写真を集め、今と昔の生活環境の違いを知ること、街の変化について気づかせると共に、将来の地域環境について考える。			

### ○授業進行例○

時間	授業の内容・流れ <small>○児童の活動 ★講師・教員が実施</small>	学習のねらい	必要な教具・教材 /★留意点
導入 (5分)	○授業のねらいを理解する ★流れの確認。 →“地域”に関わる問いかけ。 「昔はどんな街だった？」など。	○“地域”に関わる興味を引き出す。	
展開1 (20分)	○スナップタイムマシーン ★グループごとに今と昔の写真を配布し、街の変化を比べる。 →グループに同じ場所の今と昔の写真を示す。 →何が映っているか、どこの場所か、何が変わったか、何が変わってないかを比べる。 →気づいたことを付箋に書いてまとめる。	○地域の変化に気づく。	・写真（地域の写真を利用） ・付箋
展開2 (20分)	○街づくりを考えよう！ ★比べた感想を元に、良くなった点、残した方が良かった点、将来変わってほしい点をまとめ発表する。 →良くなった点。 →残した方が良かった点。 →将来変わってほしい点。	○将来の地域環境を想像する。	・ワークシート

### ○発展例○

分野	授業の展開	発展ポイント
	・世界の日常生活を調べる。	地域の文化や環境、生活に着目し、くらしの特徴を見つける。
	・地域の自然環境の変化と原因を考える。	高度成長に伴う街の変化を考え、経済活動と環境保全のバランスを考える。
	・地域の産業の変化を考える。	地域の産業を調べることで、地場産業への関心を高める。

### ○情報リンク○

- ・ 沖縄県公文書館 **情報 画像** (<http://www.archives.pref.okinawa.jp/>)
- ・ 国土交通省国土地理院地図・空中写真・地理調査 **情報 画像** (<https://www.gsi.go.jp/tizu-kutyu.html>)

# スナックタイムマシーン ワークシート

## 🏢 どんな場所？

## 🏢 変わったところは？変わってないところは？

変わったところ	どう変わった？
変わってないところ	どう変わってない？

## 🏢 街の変化の比較

良くなった点	
残した方が良かった点	
将来変わってほしい点	

こころ

# スナッフタイムマシーン (指導用解説)



沖縄県公文書館  
RG, Series Item: 127-GW-601-122425

1945年 本部



1964年 平和通り



1945年 那覇市



1964年 安里十字路



沖縄県公文書館  
RG, Series Item: 127-GW-616-138677

1945年 楚辺



沖縄県公文書館  
RG, Series Item: 127-GW-673-117037

1945年 読谷村



1945年 座間味村



1966年 沖縄島南部

出典) 沖縄県公文書館

スナッフタイムマシーン

●ワークシート記入例●

ス ナ ッ プ タ イ ム マ シ ー ン ワ ー ク シ ー ト

■どんな場所？

国際通り

■変わったところは？変わってないところは？

変わったところ	どう変わった？
道	アーケードになり店舗の形も変化した
変わってないところ	どう変わってない？
人	変わらず人が多く往来している

■街の変化の比較

良くなった点	キレイになった。整備されている。
残した方が良かった点	生活感、地元の人往来
将来変わってほしい点	沖縄の中心地として沖縄の人から外国の人まで往来する場所になってほしい



！POINT！

サンプル写真は一例です。地域の昔の写真は、役所や公民館等の公的な施設に保管されていることがあります。他にも児童・生徒の皆さんの自宅等から借りるとより昔の地域の写真が多く入手できます。現在の写真は、事前に撮影しましょう！




## ⑨記者クラブ

実施時間	45分	対象学年	小学校5年生以上						
活用単元例 (指導要領)	【小学校高学年】								
	<table border="0"> <tr> <td>社会</td> <td>・世界の中の日本</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>・生物と環境</td> </tr> <tr> <td>国語</td> <td>・書くこと・読むこと</td> </tr> </table>			社会	・世界の中の日本	理科	・生物と環境	国語	・書くこと・読むこと
	社会	・世界の中の日本							
理科	・生物と環境								
国語	・書くこと・読むこと								
【中学校】									
<table border="0"> <tr> <td>社会</td> <td>・身近な地域の調査・私たちと国際社会の諸課題</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>・生物と環境</td> </tr> <tr> <td>国語</td> <td>・書くこと・読むこと</td> </tr> </table>			社会	・身近な地域の調査・私たちと国際社会の諸課題	理科	・生物と環境	国語	・書くこと・読むこと	
社会	・身近な地域の調査・私たちと国際社会の諸課題								
理科	・生物と環境								
国語	・書くこと・読むこと								
【高等学校】地歴公民・国語									
○概要○ 新聞やインターネットから環境に関するニュースを集め、気になる地元のニュースを見つけることで、地元についての理解を深める。									

### ○授業進行例○

時間	授業の内容・流れ ○児童の活動 ★講師・教員が実施	学習のねらい	必要な教具・教材 /★留意点
導入 (5分)	○授業のねらいを理解する ★流れの確認。 →“ニュース”に関する問いかけ。 「昨日どんな出来事があった？」など。	○“ニュース”に関する興味を引き出す。	
展開1 (15分)	○新聞スクラップを作ろう！ ★グループごとに新聞を配布し、気になる記事を切り抜き、スクラップを作成する。 →日付の違う新聞を複数準備する。 →切り抜きをワークシートに張り付け、コメントを入れる。	○“出来事”に興味を引き出す。	・新聞 ・ノリ ・はさみ ・ワークシート①
展開2 (25分)	○ニュースを作ろう！ ★日常生活で起きた地域の変化や環境の変化等の記事を作る。 →出来上がった記事を壁新聞として掲示する。	○地域の環境に関する“出来事”に興味関心を持たせる。	・ワークシート②

### ○発展例○

分野	授業の展開	発展ポイント
	・地域の取材を行い、情報を発信する。	地域の魅力を理解し、地域活性の活動につなげる。
	・将来変化すると予想される環境について考える。	気候変動による地域環境への影響を考える。
	・持続可能な地域づくりを考える。	地域の変化を理解し、将来的なビジョンへつなげる。

### ○情報リンク○

- ・沖縄タイムス NIE 新聞で学ぼう [情報](http://nie.okinawatimes.co.jp/nie/) (http://nie.okinawatimes.co.jp/nie/)
- ・琉球新報 NIE ルーム [情報](http://nie.ryukyushimpo.jp/) (http://nie.ryukyushimpo.jp/)

# 記者クラブ ワークシート ①

## 気になるニュース記事

Large empty rounded rectangular box for writing.

## 感想コメント

こころ



# 記者クラブ ワークシート ②

 TOP NEWS

はじめ

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 記者クラブ（指導用解説）

## ●ワークシート記入例●

### 記者クラブ ワークシート ①

#### 📖 気になるニュース記事

【伊江】沖縄サイエン二環で、伊江村立西小スクエアで環境事業の校（佐々田誠校長）の6年生は、伊江島が琉球石灰岩という特徴的な地層から成り立っていることの説明を受けた。地下約400mまでのボーリングコアサンプルを観察し、色も臭い、手で触れるなご、地下の様子を肌で感じ取った。

また、同サンプルの地下1・3層から約40m地点にある琉球石灰岩と地下54m地点の粘板岩を同時に水に浸し、水の吸収性の変化を比較した。

また、建設が進められている地下ダムの仕組みを「地下の地質を表す模型」を使って説明を受け、役割なども学んだ。

大村夏穂さんは「地層に興味があったが、地層のことがよく分かり、興味がわいた」と話した。

年生は11月20日、理科の「大地のくまじ」の単元の授業で、「伊江島を覗いてみよう」と、実験を交えて島の地層や地質、成り立ちなどを学んだ。沖縄総合事務局伊江産業水利事業所の吉田勇介さんが講義を務めた。

6年生は、伊江島が琉球石灰岩という特徴的な地層から成り立っていることの説明を受けた。地下約400mまでのボーリングコアサンプルを観察し、色も臭い、手で触れるなご、地下の様子を肌で感じ取った。

また、同サンプルの地下1・3層から約40m地点にある琉球石灰岩と地下54m地点の粘板岩を同時に水に浸し、水の吸収性の変化を比較した。

また、建設が進められている地下ダムの仕組みを「地下の地質を表す模型」を使って説明を受け、役割なども学んだ。

大村夏穂さんは「地層に興味があったが、地層のことがよく分かり、興味がわいた」と話した。

#### 📖 感想コメント

伊江島に地下ダムがある事を知った。地域の資源を活用した授業はおもしろそうだった。

### 記者クラブ ワークシート ②

#### 📖 TOP NEWS



夏到来

今日は学校の登校中にセミの声が聞

こえた。まだ春だと思っていた風景が

一変して夏の到来を教えてくれた。

季節の初めになくセミは「イワサキ

クサゼミ」であると○○君が教えてく

れた。いつまでセミが鳴くのか今後の

調査が必要だ。